

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第4983337号
(P4983337)

(45) 発行日 平成24年7月25日 (2012. 7. 25)

(24) 登録日 平成24年5月11日 (2012. 5. 11)

(51) Int. Cl.

F 1

B 6 4 D 11/02 (2006. 01)

B 6 4 D 11/02

A 4 7 K 17/00 (2006. 01)

A 4 7 K 17/00

A 4 7 K 17/02 (2006. 01)

A 4 7 K 17/02

Z

請求項の数 4 (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願2007-84625 (P2007-84625)
 (22) 出願日 平成19年3月28日 (2007. 3. 28)
 (65) 公開番号 特開2008-239039 (P2008-239039A)
 (43) 公開日 平成20年10月9日 (2008. 10. 9)
 審査請求日 平成22年2月9日 (2010. 2. 9)

(73) 特許権者 000006714
 横浜ゴム株式会社
 東京都港区新橋5丁目3番11号
 (74) 代理人 100066865
 弁理士 小川 信一
 (74) 代理人 100066854
 弁理士 野口 賢照
 (74) 代理人 100066885
 弁理士 斎下 和彦
 (72) 発明者 神山 隆
 神奈川県平塚市追分2番1号 横浜ゴム株
 式会社平塚製造所内

審査官 北村 亮

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 航空機用化粧室

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

化粧室内に、少なくとも便器及び洗面台を備えたユニット形式の航空機用化粧室であって、

前記化粧室の相対向する壁面内の所定高さ位置に、長手方向に沿ってガイドレールを設け、前記ガイドレールにスライド可能なランナーを介してハンモック部材を取付けた多目的なハンモック台を設け、前記ハンモック部材は、相対向するランナー間に所定幅の布、網、紐、可撓性板材の少なくとも一つを設け、前記ハンモック台のハンモック部材は、使用しない時には、ガイドレールに沿って便器の背面側に移動させて収容しておき、また使用する際には、ハンモック部材を便器の背面側から引き出して便器上にはりめぐらせて使用するようにしたことを特徴とする航空機用化粧室。

【請求項 2】

化粧室内に、少なくとも便器及び洗面台を備えたユニット形式の航空機用化粧室であって、

前記化粧室の相対向する壁面の所定高さ位置に、長手方向に沿ってガイドレールを組み込んだ手摺りを設け、前記ガイドレールにスライド可能なランナーを介してハンモック部材を取付けた多目的なハンモック台を設け、前記ハンモック部材は、相対向するランナー間に所定幅の布、網、紐、可撓性板材の少なくとも一つを設け、前記ハンモック台のハンモック部材は、使用しない時には、ガイドレールに沿って便器の背面側に移動させて収容しておき、また使用する際には、ハンモック部材を便器の背面側から引き出して便器上に

10

20

はりめぐらせて使用するようにしたことを特徴とする航空機用化粧室。

【請求項 3】

化粧室内に、少なくとも便器及び洗面台を備えたユニット形式の航空機用化粧室であって、

前記化粧室の相対向する壁面の所定高さ位置に棒状の手摺りを設け、この手摺りの一方に、手摺り間に張設可能で、かつ巻取り、巻出し可能なハンモック部材を組み込んだハンモック台を設け、前記ハンモック部材は、相対向するランナー間に所定幅の布、網、紐、可撓性板材の少なくとも一つを設け、前記ハンモック台のハンモック部材は、使用しない時には、便器の背面側に折り畳むようにして収容し、また使用する際には、ハンモック部材を便器の背面側から引き出して便器上に張りめぐらせて使用するようにしたことを特徴とする航空機用化粧室。

10

【請求項 4】

前記ハンモック部材は、手摺りに配設した巻取り、巻出し軸にバネ部材を介して巻取り、巻出し可能に構成した請求項 2 または 3 に記載の航空機用化粧室。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

この発明は、ユニット形式の航空機用化粧室に係わり、更に詳しくは化粧室の壁面の一部に、乳幼児のおむつ交換や荷物置き等に使用される多目的なハンモック台を設けた航空機用化粧室に関するものである。

20

【背景技術】

【0002】

従来、航空機用の化粧室には、便器、ミラーや手洗い等の洗面台が設置され、また近年の化粧室内には、幼児と共に旅行する家族旅行者が多くなっていることから、乳幼児のおむつ交換や荷物置き等に使用される多目的台等が設置されている（例えば、特許文献 1 参照）。また、航空機用の化粧室は、限られたスペースに設置するため、広い容積を確保することが難しく、近年ではユニットタイプの化粧室が提案されている。

【0003】

従って、化粧室内に装備される多目的台も小型で、ハニカムパネルや樹脂成形品等から成る板状のものが主流であった。しかし、このような構造の多目的台の場合、特に乳幼児のおむつ交換用として使用する場合には、表面が硬いため載せられた乳幼児に不快感を与えと言った問題があり、更に固定状態の多目的台では、化粧室内のスペースを更に狭い状態にしてしまうと言う問題があった。

30

【0004】

また、多目的台の表面を改善するために、表面をクッション張りにする等して使用感を改善する場合も考えられるが、この場合コスト及び質量が増加すると言う問題があった。

【0005】

更に、従来の航空機用の化粧室には、成人、老人や子供、或いは障害者等が便器等を使用する場合に、それらの使用者が身体保持のためのアシストする手摺りや把手等を設けているものが少なく、化粧室の壁等に手を当てて体を支えるようなことが行われていた。

40

【特許文献 1】特開平 6 - 40399 号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0006】

この発明はかかる従来の問題点に着目し、化粧室の壁面に出し入れ可能なハンモック台を取付けることで、ハンモック台を使用する際には、乳幼児等に不快感を与えることなく安心して使用することが出来る航空機用化粧室を提供することを目的とするものである。

【課題を解決するための手段】

【0007】

この発明は上記目的を達成するため、この発明の第 1 の航空機用化粧室は、化粧室内に

50

、少なくとも便器及び洗面台を備えたユニット形式の航空機用化粧室であって、前記化粧室の相対向する壁面内の所定高さ位置に、長手方向に沿ってガイドレールを設け、前記ガイドレールにスライド可能なランナーを介してハンモック部材を取付けた多目的なハンモック台を設け、前記ハンモック部材は、相対向するランナー間に所定幅の布，網，紐，可撓性板材の少なくとも一つを設け、前記ハンモック台のハンモック部材は、使用しない時には、ガイドレールに沿って便器の背面側に移動させて収容しておき、また使用する際には、ハンモック部材を便器の背面側から引き出して便器上にはりめぐらせて使用するようにしたことを要旨とするものである。

【 0 0 0 8 】

また、この発明の第2の航空機用化粧室は、化粧室内に、少なくとも便器及び洗面台を備えたユニット形式の航空機用化粧室であって、前記化粧室の相対向する壁面の所定高さ位置に、長手方向に沿ってガイドレールを組み込んだ手摺りを設け、前記ガイドレールにスライド可能なランナーを介してハンモック部材を取付けた多目的なハンモック台を設け、前記ハンモック部材は、相対向するランナー間に所定幅の布，網，紐，可撓性板材の少なくとも一つを設け、前記ハンモック台のハンモック部材は、使用しない時には、ガイドレールに沿って便器の背面側に移動させて収容しておき、また使用する際には、ハンモック部材を便器の背面側から引き出して便器上にはりめぐらせて使用するようにしたことを要旨とするものである。

【 0 0 0 9 】

更に、この発明の第3の航空機用化粧室は、化粧室内に、少なくとも便器及び洗面台を備えたユニット形式の航空機用化粧室であって、前記化粧室の相対向する壁面の所定高さ位置に棒状の手摺りを設け、この手摺りの一方に、手摺り間に張設可能で、かつ巻取り、巻出し可能なハンモック部材を組み込んだハンモック台を設け、前記ハンモック部材は、相対向するランナー間に所定幅の布，網，紐，可撓性板材の少なくとも一つを設け、前記ハンモック台のハンモック部材は、使用しない時には、便器の背面側に折り畳むようにして収容し、また使用する際には、ハンモック部材を便器の背面側から引き出して便器上に張りめぐらせて使用するようにしたことを要旨とするものである。

【 0 0 1 0 】

ここで、前記ハンモック部材は、相対向するランナー間に所定幅の布，網，紐，可撓性板材の少なくとも一つを設けるものである。また前記ハンモック部材は、手摺りに配設した巻取り、巻出し軸にバネ部材を介して巻取り、巻出し可能に構成するものである。

【 0 0 1 1 】

このように、化粧室の壁面にハンモック台を設けることで、乳幼児のおむつ交換等をする場合にも、乳幼児に不快感を与えることなく安心して使用することが出来、また老人や子供、或いは障害者等が便器を使用する場合にも、体を支えて安心して化粧室を利用することが出来るものである。

【発明の効果】

【 0 0 1 2 】

この発明は上記のように構成したので、以下のような優れた効果を奏するものである。

【 0 0 1 3 】

- (a).化粧室の壁面に出し入れ可能なハンモック台を取付けることで、乳幼児のおむつ交換等をする場合にも、乳幼児に不快感を与えることなく安心して使用することが出来る。
- (b).化粧室に装備させるハンモック台を必要に応じて使用状態にし、使用しない場合には、邪魔にならない位置に収容できる。この結果、限られたスペースの化粧室を最大限使用することが出来る。
- (c).従来のクッション付き多目的台と比較した場合、より軽量で安価に製作出来る。
- (d).ハンモック台を手摺りに組み込むことで、部品点数を削減し、コスト及び質を低減させることが出来る。

【発明を実施するための最良の形態】

【 0 0 1 4 】

以下、添付図面に基づき、この発明の実施形態を説明する。

図 1 は、この発明の第 1 実施形態を示すユニットタイプの航空機用化粧室内の概略構成図であり、前記化粧室の外郭 1（ドアは省略してある）は、繊維強化プラスチック（FRP）等の樹脂材料により分解、組立可能に構成され、化粧室の内部には、便器 2、ミラー 3 や手洗い等の洗面台（省略）が設置されている。

【0015】

また、前記化粧室内の便器 2 を挟む左右の相対向する壁面 4 には、図 1 及び図 2 に示すように所定高さ位置に、長手方向に沿ってガイドレール 7 を設け、前記ガイドレール 7 にスライド可能な複数のランナー 8 を介してハンモック部材 9 を取付けた多目的なハンモック台 6 が設けてある。

10

【0016】

前記ガイドレール 7 としては、例えば、アルミニウムや樹脂材料で形成した C 字状のチャンネル部材の内部に複数の樹脂材料から成る駒状のランナー 8 を摺動可能に嵌合させ、この複数の相対向する駒状のランナー 8 間に所定幅のシート状のハンモック部材 9 の相対向する側縁部を図示しない締結部材により取付けてある。なお、ハンモック部材 9 は布や樹脂材料から成るシート状物に限定されず、網、紐のほか所定幅の可撓性板材により構成することも可能である。

【0017】

前記ハンモック台 6 のハンモック部材 9 は、使用しない時にはガイドレール 7 に沿って便器 2 の背面側に移動させて収容しておき、また乳幼児等のおむつ交換等で使用する際には、ハンモック部材 9 を便器 2 の背面側から引き出して便器 2 上に張りめぐらせ、このハンモック部材 9 上に乳幼児等を寝かすことにより容易におむつ交換を行うことが出来るものである。

20

【0018】

前記ガイドレール 7 は、図 2 に示すように、相対向する壁面 4 内にガイドレール 7 を収容し得るような凹部 7 a を形成し、このガイドレール 7 に上記のようにランナー 8 を介してハンモック部材 9 を取付けた多目的なハンモック台 6 を設けたり、また図 1 及び図 3 に示すようにガイドレール 7 を収容した中空棒状の手摺り 5 a , 5 b を相対向する壁面 4 に平行に取付けることも可能である。そして、ガイドレール 7 には上記の実施形態と同様にスライド可能な複数のランナー 8 を介してハンモック部材 9 を取付けて構成するものである。

30

【0019】

前記ガイドレール 7 を収容した手摺り 5 a , 5 b は、相対向する壁面 4 に直接取付けたり、第 1 実施形態のように、壁面 4 に凹部を形成して手摺り 5 a , 5 b を取付けたり、更には図 4 に示すように、壁面 4 に支持部材 4 a を介して取付けることも可能である。

【0020】

前記中空棒状の手摺り 5 a , 5 b 内にガイドレール 7 を収容する場合には、手摺り 5 a , 5 b の相対向する側縁部にガイド溝 10 を形成し、このガイド溝 10 に沿ってガイドレール 7 に嵌合させたランナー 8 を摺動させ、このランナー 8 に締結部材を介してハンモック部材 9 を取付けた多目的なハンモック台 6 を設けるものである。

40

【0021】

この結果、ハンモック部材 9 を使用しない時には、上記のように便器 2 の背面側に折り畳むようにして収容し、また使用する際には、ハンモック部材 9 を便器 2 の背面側から引き出して便器 2 上に張りめぐらせ、このハンモック部材 9 上に乳幼児等を寝かすことにより容易におむつ交換を行うことが出来るものである。

【0022】

なお、その他の構成及び作用は上記第 1 実施形態と同様なので同一符号を付して説明は省略する。

【0023】

更に、この発明の他の実施形態としては、図 5 に示すように化粧室の相対向する壁面 4

50

の所定高さ位置に棒状の手摺り 5 a , 5 b を設け、この手摺り 3 a , 3 b の一方に、手摺り間に張設可能で、かつ巻取り、巻出し可能なシート状のハンモック部材 9 を組み込んだハンモック台 6 を設けて構成する。

【 0 0 2 4 】

そして、前記ハンモック部材 9 は、手摺り 5 a , 5 b に配設した巻取り、巻出し軸 1 1 にコイルバネ等の弾性部材を介して巻取り、巻出し可能に構成し、ハンモック部材 9 の使用時には、手摺り 5 a または 5 b の一方の内部から例えば、シート状のハンモック部材 9 を巻き出して他方の手摺り 5 a または 5 b に巻付けたり、フック等を介して係止させる。

【 0 0 2 5 】

これにより便器 2 上にハンモック部材 9 を張りめぐらせることができ、このハンモック部材 9 上に乳幼児等を寝かすことにより容易におむつ交換を行うことが出来る。

10

【 0 0 2 6 】

また、ハンモック部材 9 の一部には、乳幼児等を寝かせた場合に位置決めや固定が容易となるように、足を挿入させる貫通穴や固定ベルト等を設けることも可能である。

【 0 0 2 7 】

なお、その他の構成及び作用は上記第 1 実施形態と同様なので同一符号を付して説明は省略する。

【 0 0 2 8 】

以上のように、この発明の各実施形態では、化粧室の壁面 4 に設けたガイドレール 7 にランナー 8 を介してハンモック台 6 を取付けることで、乳幼児のおむつ交換等をする場合にも、乳幼児に不快感を与えることなく安心して使用することが出来る。

20

【 0 0 2 9 】

なお、ハンモック台 5 は乳幼児等を寝かせる場合の他、着替えやその他の用途にも有効に利用出来るものである。

【 0 0 3 0 】

また手摺り 5 a , 5 b と共用させる場合には、成人の他、老人や子供、或いは障害者等が便器を使用する場合にも、体を支えて安心して化粧室を利用することが出来る。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 3 1 】

【図 1】この発明の実施形態を示すユニットタイプの航空機用化粧室内の概略構成図である。

30

【図 2】図 1 の A - A 矢視断面図である。

【図 3】この発明の他の実施形態を示す図 2 と同様な図である。

【図 4】この発明の他の実施形態を示す図 2 と同様な図である。

【図 5】この発明の他の実施形態を示す図 2 と同様な図である。

【符号の説明】

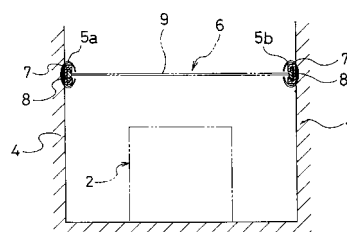
【 0 0 3 2 】

- 1 化粧室の外郭
- 2 便器
- 3 ミラー
- 4 壁面
- 4 a 支持部材
- 5 a , 5 b 手摺り
- 6 ハンモック台
- 7 ガイドレール
- 7 a 凹部
- 8 ランナー
- 9 ハンモック部材
- 10 ガイド溝
- 11 巻出し軸

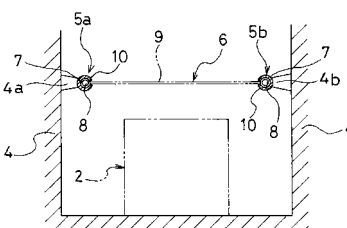
40

50

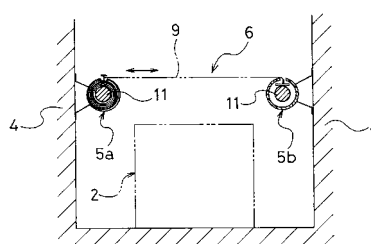
【圖 3】



【圖 2】



【圖 5】



フロントページの続き

(56)参考文献 特開平01-146038(JP,A)
特開2003-160217(JP,A)
特開2003-180754(JP,A)
特開平11-099860(JP,A)
特開平06-040399(JP,A)
特開2002-154489(JP,A)
特開2004-359165(JP,A)
特開平11-092058(JP,A)
実開平1-143963(JP,U)
実開平1-148463(JP,U)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
B64D 11/02
A47K 17/00
A47K 17/02